

陽子線セラピー ニュース

治療と社会生活の両立も可能な都市型の陽子線がん治療施設に向けて！

平成24年度開設予定



完成予想図

目次:PAGE

健康福祉局長
あいさつ P 1

病院局長
あいさつ P 2

担当医
あいさつ P 2

名古屋市と保険会社
との協力協定締結式 P 3

陽子線セミナー P 3

MDアンダーソン
米国研修 P 3

西部医療センター
が開院します。 P 4

陽子線Q&A P 4

「がん対策先進都市をめざして」



がんは、市民の死因の第1位であり、今後も高齢社会の進展にともない、がんにかされる市民の方はますます増加するものと推測されております。一方、治療技術の進歩により、がんは早期発見、早期治療を行うことによって、死亡率を低下させることができるようになってきました。そうしたことから本市では、がん検診をワンコイン(500円)に統一し、より多くの市民の皆様にご受診していただけるよう努めております。また、がん対策を進める上で、「予防」と「治療」は車の両輪との考えから、痛みのない、からだに優しいがん治療として注目されている「陽子線治療」を提供する施設の整備を進めています。この陽子線がん治療施設を本市のみならずこの地域の貴重な医療資源として広域的に活用していくなかで、この地域全体のがん対策の底上げが図られることを願っています。

健康福祉局長

長谷川弘之

病院局長のあいさつ

笑顔がみられる病院 笑顔がみられる病院

名古屋市立病院は、限りある医療資源の選択と集中を進めて医療機能を集約し、役割分担と連携による特色ある病院づくりを進めております。その一大プロジェクトである西部医療センターが平成23年5月に開院するなど、いよいよ新たな時代の幕開けというべき大きな変革期にあります。

その西部医療センターは市民の皆さんが最も望んでいる周産期医療、小児医療、悪性新生物(がん)への医療を充実させた病院として生まれます。特にがん医療に関しては消化器内科、消化器外科を中心とした消化器腫瘍センターを設置し、胃がんや大腸がんに重点を置いた医療を提供するとともに平成24年度中に開設する陽子線治療施設と連携した集学的治療までワンランク上の治療を提供したいと思っております。

私どもは地域の中核的な病院として親しまれ、患者さんや医療従事者に選ばれる病院を目指します。そして、なにより患者さんと職員の笑顔がみられる市立病院の新しい時代を皆様とつくっていきましょう。



病院局長 上田龍三

エビデンスの構築にむけて エビデンスの構築にむけて

担当医あいさつ



陽子線がん治療施設
事業担当

主幹 荻野浩幸
(放射線腫瘍医)

名古屋市の陽子線治療施設は、平成24年度中の開設をめざして建物の工事や装置の製作など順調に進んでいます。本施設は500床の総合病院である名古屋市立西部医療センターの一部門であり、また名古屋駅から車で約15分という交通の便のよい場所にあるという都市型施設であることが特徴です。

本施設の目指すべき方向性は、すでに先行施設から発表されているデータに基づきプロトコル(治療手順)を作成して治療を行い、その治療結果を公表することで陽子線治療のエビデンス(根拠)作りへの寄与を目指すことです。また、総合病院の一部門として運営されますので、各領域の専門家によるカンサーボードにおいて症例ごとの検討を行い、患者ごとの最適な医療の提案を行うとともに、今後適応拡大が期待される化学療法との併用も視野にいれ、チーム医療の円滑化をめざしてゆきたいと思っております。

導入される装置は日立製作所社製ですが、これはMDアンダーソンがんセンターに導入された装置をベースに作られています。特に、回転ガントリーでは最新陽子線照射技術であるスポットスキニングによる照射が可能となりますが、この方法は従来よりも腫瘍への照射線量集中性を高め、正常組織への線量を減少させる強度変調陽子線治療(IMPT)への発展が期待され、さらなる体に優しいがん治療へと発展させてゆきたいと思っております。

現在あるデータに基づいた治療を行うとともに、新技術の導入によるさらなる陽子線治療の進歩を目指してゆきたいと思っております。

名古屋市と保険会社との協力協定締結式

昨年12月21日に、名古屋市と保険会社11社との間で協力協定を締結いたしました。市長が「都心に陽子線がん治療施設ができるのは日本初。市民の皆さんに使ってもらえるようお力を借りたい」とあいさつを述べると会場の関係者から大きな拍手が起こりました。

今後は、協働でイベント・講演会を開催するなど陽子線がん治療や、がん検診の普及・啓発活動について協力していくことを約束しました。



(上段右から)富士生命、東京海上日動あんしん生命、富士火災、アリコジャパン、第一生命、(下段右から)フコク生命、東京海上日動、三井住友海上きらめき生命、住友生命、アフラック、損保ジャパンひまわり生命、河村市長(下段中央)



プロジェクト発足に向け、名古屋市職員と保険会社とで何度もミーティングを重ねました。

陽子線セミナー

保険会社の職員などを対象に、本市の専門職員がセミナーの講師として出向き、基礎知識や最新情報の提供を行っています。こういった講演会も、市のプロジェクトの一環と位置づけ展開していますが最近、テレビや新聞などでさかんに陽子線治療のことが取り上げられていることもあり、受講者の方々の関心は高く、講演後は、熱心に質問される方もいらっしゃいます。



保険会社に限らず依頼があれば職員が出張講演いたします。詳しくは名古屋市健康福祉局健康部クオリティライフ21城北推進室まで

米国 MD アンダーソン研修記

世界最大級のMDアンダーソンがんセンター(米国ヒューストン)には、名古屋市に導入されるものと同型の陽子線治療装置を使った治療を行っています。放射線科医、医学物理士、診療放射線技師がそれぞれの視点で技術を身につけるため、現地において1ヶ月間の研修を受けました。研修では装置の取り扱いを見学したり実習したりするだけでなく、世界的に著名なスタッフから直接、治療方法の改良への取り組みについて学びました。先進医療である陽子線治療の最先端技術を身につけるためには国内先行施設のみならず、海外での情報収集と技能研修を行うことが重要と考えています。



MDAプロトンセラピーセンター前にて

西部医療センターが開院します！

西部医療センター
H23年度5月1日開院予定

陽子線がん治療施設
H24年度開設予定

志賀公園

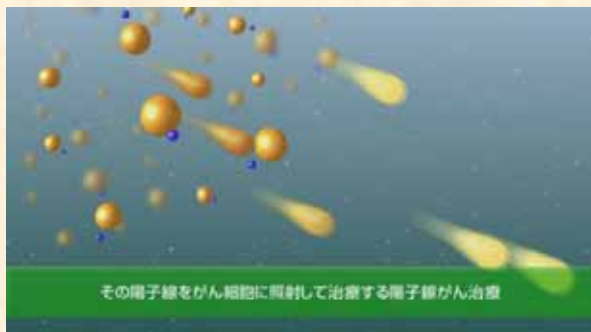
西部医療センターの理念は
患者さんと職員の笑顔
がみられる病院です。

おぎのせんせい



陽子線 Q&A

Q1. 陽子線ってなんですか？



その陽子線をがん細胞に照射して治療する陽子線がん治療

A. 水素原子から電子を取り除いた陽子を装置で高速に加速したもので、放射線の1つです。

Q2. 治療費はいくらかかるのですか？

A. 治療費は、240万円から280万円となっています。現在のところ、これらの治療費は健康保険の対象になりません。ただし、それに付随する入院費や検査料は保険の対象となります。



受付・待合室 イメージ図

陽子線セラピーニュース

発行・編集

名古屋市健康福祉局健康部
クオリティライフ21城北推進室

電話052(972)2605
FAX052(972)4833
Email:a2605@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

名古屋市病院局管理部
経営企画室

電話052(972)3348
FAX052(972)3381
Email:a3348@byoin.city.nagoya.lg.jp

〒460-8508
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号